

□・BASF
We create chemistry

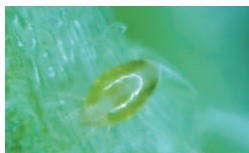
唯一の系統[※]で 幅広い害虫から野菜を守る

※有効成分クロルフェナビルは、殺虫剤分類13に唯一属します。

■ 登録作物が多い ■ 幅広い害虫種に優れた効果 ■ 同時防除に最適



ハスモンヨトウ



チャノホコリダニ



ミカンキイロアザミウマ



オオタバコガ



ナミハダニ

難防除害虫に効く

コテツ[®]フロアブル

殺虫剤分類 13

® = BASF社の登録商標

適用書虫と使用方法(抜粋) *本剤及びクロルフェナビルを含む農薬の総使用回数制限を示す。

野菜版

コデツプロアブル

有効成分：クロルフェナビル…10.0% 毒性：医薬用外劇物

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	使用回数	使用方法
あすき類 (未成熟、ただし、さやいんげん、さやえんどう、えんどう、を除く)	ハダニ類、ノメイガ類	2000	100~300	収穫3日前まで	2回	散布
豆類	ハダニ類					
実えんどう	ハダニ類、ハスモンヨトウ					
さやいんげん	ハダニ類、アズキノメイガ					
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類、ウリノメイガ、ウリハムシ	4000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
うり類(漬物用)	ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類					
すいか	ミナミキイロアザミウマ	2000	100~300	収穫前日まで	3回	散布
にがうりかぼちゃ(日本かぼちゃ)	ミナミキイロアザミウマ					
トマト	オオタバコガ、ミカンキイロアザミウマ、ナミハダニ、トマトサビダニ	2000	100~300	収穫前日まで	4回	散布
なす	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、チャホコリダニ、ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、テントウムシダマシ類					
ピーマンとうがらし類(ししとうを除く)	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、ハダニ類	4000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
ししとう	ヒラズハナアザミウマ					
キャベツ	コナガ、アオムシ、タマナギンウバ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ					
茎ブロッコリー	アオムシ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
カリフラワー	コナガ					
メキャベツ	ハスモンヨトウ	2000	100~300	収穫7日前まで	1回	散布
非結球メキャベツ	コナガ					
なばな類	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、カブラハバチ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
はくさい	コナガ					
非結球あぶらな科葉菜類(にまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球メキャベツを除く)	コナガ	2000	100~300	収穫14日前まで	1回	散布
チンゲンサイ	コナガ					
こまつな	アオムシ、コナガ、ハクサイダニ	2000	100~300	収穫3日前まで	2回	散布
非結球はくさい	アオムシ、コナガ					
だいこん	アオムシ、コナガ、ダイコンサルハムシ	2000	100~300	収穫14日前まで	2回	散布
かぶ	コナガ、ナモグリバエ、ヨトウムシ					
みょうが(花穂)	ハダニ類	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
みょうが(莖葉)	ハダニ類					
いちご	ハダニ類、ハスモンヨトウ、シクラメンホコリダニ、ミカンキイロアザミウマ	2000~4000	100~300	*2花穂の収穫前日まで	2回	散布
ねぎ	シロイチモジヨトウ、ヒョウタンゾウムシ類、ネギハモグリバエ、ネギコガ					
オクラ	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	2000	100~300	収穫7日前まで	1回	散布
レタス	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ナモグリバエ、ヨトウムシ					
モロヘイヤ	アザミウマ類	2000	100~300	収穫7日前まで	1回	散布
あしたば	ウドノメイガ					
やまのいも	カンザワハダニ、ナガイモコガ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
やまのいも(むかご)	ハスモンヨトウ、ハダニ類					
かんしょ	ハスモンヨトウ、ハダニ類	2000~4000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
はすいも(葉柄)	ヨツツカメノコハムシ、シロイチモジヨトウ					
さといも	カンザワハダニ、ハスモンヨトウ	2000	100~300	収穫7日前まで	2回	散布
さといも(葉柄)	ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、ビナガハムシ、ヨトウムシ					
アスパラガス	ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、ビナガハムシ、ヨトウムシ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
ふき	ハスモンヨトウ、ハダニ類					
ふき(ふきのとう)	ハスモンヨトウ、ハダニ類	2000	100~300	収穫90日前まで	1回	散布
てんさい	ヨトウムシ、ハダニ類、カメノコハムシ					
セルリー	ヨトウムシ	2000	100~300	収穫7日前まで	2回	散布
にんじん	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒョウタンゾウムシ類					
みつば	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒョウタンゾウムシ類	2000	100~300	*3収穫14日前まで	1回	散布
みしまさい	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒョウタンゾウムシ類					
エンサイ	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒョウタンゾウムシ類	2000	100~300	収穫21日前まで	2回	散布
コリアンダー(葉)	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒョウタンゾウムシ類					
やなぎたて	ハスモンヨトウ	2000	100~300	収穫7日前まで	1回	散布
つるむらさき	ハスモンヨトウ					
しゅうが	ハスモンヨトウ	32	3.2	収穫14日前まで	2回	散布
葉ごぼう	ハスモンヨトウ					
すいぜんじ	ハダニ類、ヨトウムシ	2000	100~300	収穫7日前まで	3回	散布
よもぎ	ハダニ類、ヨトウムシ					
葉にんにく	ミナミキイロアザミウマ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
つわぶき	ハダニ類					
せんきゅう	ハダニ類	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
たらぎ	ハダニ類					
はまぼうふ(葉)	ハダニ類	2000	100~300	収穫90日前まで	3回	散布
うど	シクラメンホコリダニ					
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	4000~6000	200~700	2葉期まで	1回	散布
さんしょう(果実)	チャノキイロアザミウマ	4000	200~700	収穫14日前まで	1回	散布
とうもろこし	ハダニ類、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
ヤングコーン	ハダニ類、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ					
食用プリムラ	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ	2000	100~300	収穫7日前まで	2回	散布
食用金魚草	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ					
食用なでしこ	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ	2000	100~300	収穫14日前まで	2回	散布
食用エキザカム	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ					
食用せんにちこう	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
食用トレニア	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ					
食用パンジー	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
食用ミニバラ	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ					
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ヨトウムシ類、ハダニ類、オオタバコガ、アウダチゾウグンバイ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布
きく(葉)	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ヨトウムシ類、ハダニ類、オオタバコガ、アウダチゾウグンバイ					

- △効果・薬害等の注意(抜粋)**
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
 - ハウス等の常温煙霧機に使用する場合は、以下のことに注意してください。
 - ① 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。
 - ② 特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
 - ③ できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。
 - ホルデー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調整した後にホルデー液と混合してください。
 - ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなるため防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
 - 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
 - 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残りのないよう葉の表裏に十分に散布してください。
 - きゅうり・なす・はくさい・だいこん・非結球あぶらな科葉菜類・なばなおよびセルリーの幼苗期に使用すると薬害を生じることがあるので注意してください。
 - ピーマン・とうがらし類に使用する場合、品種により葉に斑点などの薬害を生じることがあるので、予備散布により薬害のないことを確認してから散布してください。
 - すいかに使用する場合、葉に薬害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
 - にかわりの幼苗期には薬害を生じるので、定植前には使用しないでください。定植後のにかわりに使用する場合は、葉に灰褐色などの斑点の薬害を生じることがあるので、予備散布により薬害のないことを確認してから散布してください。
 - 西洋かぼちゃ(黒皮栗・青皮栗・えびす・雪化粧・みやこ・黒皮栗・栗味・栗マロン・芳香等)には薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。
 - ほうれんそうに使用する場合は、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。
 - ばら・食用ミニバラに本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
 - カーネーションへの散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
 - シクラメンに使用する場合は、新葉に薬害を生じる場合があるので、薬害の出ないことを事前確認してから散布してください。
 - 周辺の作物にかかる薬害を生じる場合があるので、かからないように十分注意して散布してください。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の畜舎にはかからないようにしてください。
 - ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかけられないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
 - ④ マルハナバチに対して影響があるので注意してください。
 - ⑤ 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
 - ① 散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑤ 散布終了後は以下の注意事項を守ってください。
 - ・ 使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - ・ 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。
 - ・ 散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
 - 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
 - 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- △安全使用上の注意**
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
 - 散布等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石鹸でよく洗い、うがいをしてください。
 - 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
 - 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に關係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温場所に密栓して保管してください。
- △水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう十分に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。**
- ★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★小児の手の届くところには置かないでください。★使用後の空容器等はごみ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。★防除日誌を記録しましょう。**

*1 花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する
 *2 花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで*3 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで*4 無人航空機による散布
 大字の箇所は2021年12月22日現在、登録内容変更事項。

※この資料は2021年12月現在の知見に基づき作成したものです。



詳細はWEBでもご覧いただけます